

広報

ばんたん



Vol.32

【特集】

わがまち南丹市に思う

～新春座談会～

2008年12月・
2009年1月号



わがまち南丹市に思う

新春座談会

座談会のお話

- ・子育てのしやすいまち
- ・財政難への取り組み
- ・まちづくりに市民の声を
- ・「南丹ブランド」の発掘

広報 なんたん もくじ

- ② **特集・わがまち南丹市に思う**
～新春座談会～
- ⑧ 財政状況を公表します
- ⑫ **人・この道☆ひと筋**
秋の叙勲・褒章 ほか
- ⑭ はじまっています市民協働
- ⑮ **インフォメーション**
・固定資産税・都市計画税率改定 ほか
- ⑯ **行政トピックス**
・園部に刻む教育の歴史祝う ほか
- ⑳ いきいき南丹／ぶらりなんたん
- ㉑ 図書館へようこそ！
- ㉒ **マラウイ体験記／環・境・市・民**
- ㉓ **みんなのひろば**
・南丹市文化祭総合開会式 ほか
- ㉔ **ニュースダイジェスト**

今月の表紙

本年はうし年。和牛繁殖農家の塩貝牧場（日吉町上胡麻）では、暖かい日にはストレス解消、健康維持のために放牧されます。子牛やヤギもいて、近所の子どもたちに大人気です。



成人式実行委員

西村 直美 さん

にしむら なおみ

大学生 八木町在住
■京都産業大学文化学部
国際文化学科
将来の夢:京都にかかわること

成人式実行委員

山内 愛美 さん

やまうち あいみ

大学生 八木町在住
■滋賀大学教育学部
教員養成課程障害児教育専攻
将来の夢:保育士

南丹市長

佐々木 稔納

ささき としのり

平成18年4月30日就任

南丹市長と、南丹市成人式(1月11日開催)の実行委員である山内愛美さん、西村直美さんが新春座談会を行いました。

20歳を迎える若者のふるさとに対する思い、そして将来を担う若者へ願う市長の思い、それぞれの目線で南丹市について語りました。

住み続けたい、住み続けてほしい。この私たちのふるさと『南丹市』に。



市長

新年、おめでとうございます。

南丹市長の佐々木稔納です。成人式の実行委員をしていただいているといふことで、ありがとうございます。若い世代の方々のお考えやご意見を直接伺いする機会が少ないのが現状です。今日はぜひ、お2人が日ごろ思われていることや、この南丹市について一緒に考える有意義な時間に行きましょう。

山内さん

私は、山内愛美と申します。今日はよろしくお願ひします。八木町出身で、現在、滋賀大学に通っています。教育学部で障害児教育コースを専攻しています。保育士の免許を取る勉強をしています。京都が好きなので、できれば将来は地元で保育

士として仕事をしたいと思っています。

西村さん

西村直美と申します。私も八木町出身で今も住んでいます。京都産業大学に通っていて、日本文化について勉強しています。将来は旅行とか京都にかかわる仕事がしたいと思っています。よろしくお願ひします。

市長

お2人とも、進みたい道をしつかり持つておられますね。だいたい10代のころは、夢を抱きながらもなかなか具体的などころがなかったのが、20歳ぐらいになると、周りに就職する人も出てくるし現実も見えてくるものですよ。だから、今まさにその具現化した目標を目指して努力する、地盤となる時期だと思っています。

さて、南丹市の『まちづくり』について、私の方からお話しさせていただきますと思います。平成21年となって、1月1日で南丹市も4年目に入りました。4つのまちが一緒になって、それぞれ築いてきた歴史や

特徴を大切にする一方で、やはり「南丹市」という新しいまちになったからには「南丹市」としてのまちづくりを進めていかなければなりません。そんな中で、今年の3月に「南丹市総合振興計画」という、10年後の南丹市はこういうまちにしたいという目標を作りました。これは、市役所だけで作ったものではなくて、市民の方や委員さんなどに協議をしていただいて形になったものです。これを基本として、まちづくりの施策に取り組んでいるわけですが、今、大変財政が厳しい状態です。皆さんからお預かりしている税金を使うわけですから、「行政経営」



▲検討委員会で「市民協働」のかたちについて意見交換

という観点を持つて、伸ばすものは伸ばす、見直すものは見直して、しっかり判断して取り組んでいかなければなりません。そんな中で、まちづくりというのは、市役所だけでできるものではないんです。市役所でやること、市民の皆さん方にやってもらうことがあって、皆さん方の多様なニーズに合った税金の使い方ができるように一緒に考えていこうということ。これを「市民協働」と言います。今、市民と共に担うまちづくり手法検討委員会で取り組み方などの研究を進めていただいております。昨年夏には市政懇談会で皆さんのいろんな意見も聞かせていただきました。課題はたくさんありますが、何が求められているのか、皆さんの意見をどんどん聞かせていただいで、ニーズに対応できるように体制づくりを進めていきたいと思います。平成21年、やっぱり合併して良かったと思っていただけ今年にするべく、取り組んでいきます。

子育てのしやすいまち

山内さん

私は今、幼児教育とか、子育て



▲園部公園で遊ぶ幼稚園児たち

て支援法の勉強をしているのですが、先般も新聞や広報紙で南丹市の子育て支援策に改正があったというのを見ました。財政が厳しい中で、支援のお金が削減されてしまったのは、仕方ないのかもしれませんが、明るい未来のためにも子どもはまちに絶対に必要な存在だと思います。元氣な子どもたちがいっぱいいる南丹市にしていきたいですね。

だから、これからは、お金がかからないような子育て支援策を進めてほしいと思います。例えば、市役所でも人員削減されて、空いている部屋とかたくさんあると思います。そこを無償

で提供して、行政がかかるとお金もかかると思うので、市民の中でグループを作って子育てをサポートするとか。使っていない部屋であれば無償で提供しても財政を圧迫しないし、市民も協力するという形ができるのではないかな、と考えているのですが。

市長

大変よい話を聞かせていただきました。有るものを有効に使うという山内さんのご提案、素晴らしいと思います。

合併するまでは子育て支援施策として、それぞれ旧町ごとに子どもたちの医療費は200円までの負担にしたり、出産時や入学時の祝金を支給したりして、子どもたちのすこやかな育ちを支援してきました。それで、南丹市になったときに、良い制度だから全部やりましょうと旧町ごとにやっていた施策を全市に広げたいんです。でも、子育てを考えると、本当に金銭面での支援だけでいいのだろうか、と。

今や男女共同参画時代、男性も女性も働く中で子育てを一緒にやっっていかなければならな

い。でも、子どもは延長保育でも夜7時には迎えに行かなければならない。土曜は半日、日曜の預かりはありませぬよ、と。仕事は土、日曜日休みのところばかりではないですよ。そうしたら、子どもは誰が見るのか。核家族も増えて、ちょっとしたことを相談する相手も近くにいない。お母さんが産休の間、昼間は赤ちゃんと一対一で子育てをしなければならぬ。小さな不安や心配が募って、育児が大きな負担になってしまふ。それで給付金だけ出して子育てのしやすいまちと云えるでしょうか。

多様なニーズに対応していくために、一時金だけではなく、これからは「ファミリーサポート」や「子育て支援センター」など、限られた財政の中で人やものを有効に活用する支援システムを充実していきたいと思えます。子育てのベテランが地域には大勢いらっしゃるし、そういった方々にお手伝いをしていただいて、地域全体で子どもたちを育てていく。そうすれば、安心して子どもが産めるし、少子化対策にもつながるでしょう。

財政難への取り組み

西村さん

先ほどから、財政が厳しいというのが問題にされていますが、まちづくりを進めていくにはお金もかかるだろうし、削減、削減ということばかりではやっていけないと思います。市として収入を増やしていくことが必要だと思いますが、これからどうやって収入源を確保していくのか興味があります。



市長

おっしゃるとおり、財源の確保というのは大きな課題です。その対策として、まず一つは、市の自主財源である市税を増やすこと。そのためには、働く人、働く場所を増やし、そして住む場所を確保することが必要でしょう。近くに働ける場所が

あれば市内に住み続けていた
けますし、平成22年の春には
JR山陰本線（京都―園部間）
が完全複線化して、大阪などへ
も通勤しやすくなります。もし
たら、人口減少を食い止めるこ
とができます。

西村さん

でも、市内で働きたくても、
働く場所が少ないと住み続ける
ことは難しいですよ。

市長

そのため企業誘致を積極的
に進めているところです。園部
の内林町地区に「京都新光悦
村」という、先端産業と伝統工
芸が共存する新しいものづくり



▲企業などの誘致が進む「京都新光悦村」

拠点ができています。今、6社
目の企業が工場を建設されてい
ます。お2人がお住まいの八木
にも素晴らしい技術のある企業
が工場などを構えておられます
よね。誘致するのは企業だけで
はなくて、働く人にも入ってき
てもらおうと、八木駅や吉富駅
周辺で、地元の地権者の方々と
相談しながら住宅地を作る検討
をしています。人が増えれば、
市税や固定資産税の増収につな
がるということです。

それから、有るものを有効に
使うという話ですが、塩漬け土
地と言われたりする市の長期保
有地。これをいかに有効に使う
か、用途がないなら売って処分
するとか、市民の方々にも検討
委員会に入っていたら、将来を
見据えて厳正に審議していただ
いていきます。

まちづくりに市民の声を

山内さん

普段の生活で私たちが行政に
対して思っていることとか、意
見や文句を自分たちの間で言い
合うことはできるけれど、なか
なか直接伝えることってできま
せん。今日の座談会みたいに、

実際に答えてもらえる機会って
あんまりないですよ。だから、
自分の思いや意見も伝えたい
と思って参加しました。



市長

ありがとうございます。

私たちも、市民の皆さん方が
思っておられることを伝えてい
ただきたいと思っています。や
はり、ニーズが明確に分からな
ければ、進むべき道も見えてこ
ない。実際のニーズに合わない
ことをやっても、施策とし
ては失敗になります。皆さん方
の成人式もそうですよね。実行
委員の皆さんと市役所の担当者
と一緒に相談をして、どんな内
容にするかを決めていく。もち
ろん、何かの代表をされている
方だけでなく、お一人お一人か
らご意見を届けていただきたい
と思っています。

昨年春には全市域で情報網
の整備が完了しました。直接足
を運んでいたかなくても、イ
ンターネットを活用して南丹市
ホームページの「南丹市政への
ご意見箱」からお伝えいただく
こともできます。特に若い世代
の方には、住み続けたいと思っ
ていただけるまちにするために
ニーズを聞かせてほしいです。

それからもう一つは、テレビ
電話を使った相談業務を始め
ています。例えば、近くの支所の
窓口からでも、本庁の専門相談
員や保健師に専門的な相談をし
ていただくこともできます。皆
さんの一番身近にある行政機関
ですので、気軽に相談してい
ただいたり、ご意見を伝えてい
だいたり、一緒に考えたり、お
手伝いしたり、してもらった
り。職員も多様なニーズに対応
できる能力をつけるために研修
し、『とりあえず市役所に行っ
たらなんとかなる』というのを
目指して努力しています。

手紙、電話、ファクス、何で
も結構です。それぞれ手段を選
んでいただいて、市民の皆さん
方の声を、まちづくりのヒント
を市役所に届けてほしいと思っ
ています。

「南丹ブランド」の発掘

西村さん

私は観光に興味があるので、そういうことを聞いてみたいと思います。私の地元（八木町）、船枝には京都帝釈天とか、諸畑の清源寺には木喰さん（身天満宮）も小さいころから知っています。でも、広くなつた市域には、まだまだ知らないところがたくさんあります。

市長

木喰さん、おもしろいですね。木喰上人は、日本全国で仏像を彫っておられるけれど、羅漢像などの仏像がまとまって現存するのは珍しいと思います。



▲清源寺の木喰仏

市内各地にこうした貴重な文化財があるから、南丹市の文化力は高いと思っています。

西村さん

でも、これからの観光は、いわゆる名所だけじゃなくて、自然がいっぱいあるところなんだから農業体験とか、伝統工芸の学校もあるし実際に体験できるというのを目玉にしていかなないと。もっと南丹市という名前を他のところに広げていこうと思つたら、やっぱり南丹市の目玉となるようなものがなかったらダメだと思います。

市長

私もそう思っています。これまでの観光のイメージは観光バスの観光だったんですよね。ところが、美山とかに來られてもお客さんの消費は少ないです。観光バスに乗って、お弁当は積んできて、こっちで買い物するのは、おみやげ程度。市内の名所を見に来ていただくのは大歓迎ですが、こっちも活性化していかないとけませんから。

今、西村さんがおっしゃった農山村交流、これは地域の方々を中心になつて市内各地で取り

組まれています。田植えや稲刈り、収穫体験などや、貸し農園というのがあります。それから体験のできる観光、これを進めているのが先ほど言った「京都新光悦村」なんです。先端産業の工場だけでなく、伝統産業や和雑貨の店なども立地を希望してくれています。工芸職人さんの工房もどんどん増やしていきたいと思っています。そうやって、昔からの歴史あるものや、これからの新しい体験・交流なんかが融合すると、深みとか厚みももっとでけると思います。

平成23年には、京都で国民文化祭があります。南丹市でも、もっと私たち自身が良いところだと実感して、誇りの持てるところを多方面から発掘していかなければなりません。実は、身近すぎて自分たちが気付いていない魅力あるところがたくさんあると思います。田舎とか、雪景色とか、農業や林業にしても素晴らしいです。だから、もっとアピールしていかないと。

山内さん

私は「やぎの花火大会」が地元のこと一番自慢できます。



▲南丹市やぎの花火大会

これをもっと盛り上げて有名にしていってほしいですね。大学の友だちにもすごい人気で。大学には全国から人が集まっているし、もっと南丹市をアピールして知ってもらいたいです。

西村さん

私も、やっぱり地元が一番落ち着く場所なんです。これからのと、南丹市をより良いところにしていきたいです。

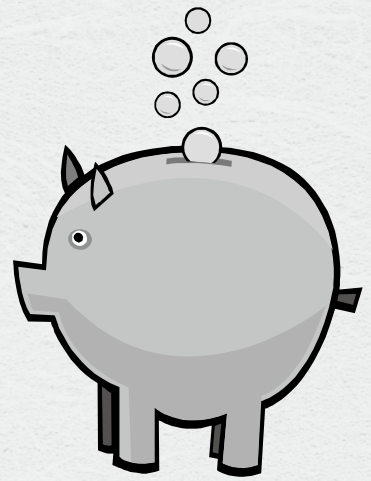
市長

わがまち南丹市の魅力をいっぱい感じていただき、お2人も生まれ育ったまちにずっと住み続けていただきますように。一緒にそんなまちにしていきたい。今日は大変有意義でした。ありがとうございます。

山内さん・西村さん

ありがとうございます。

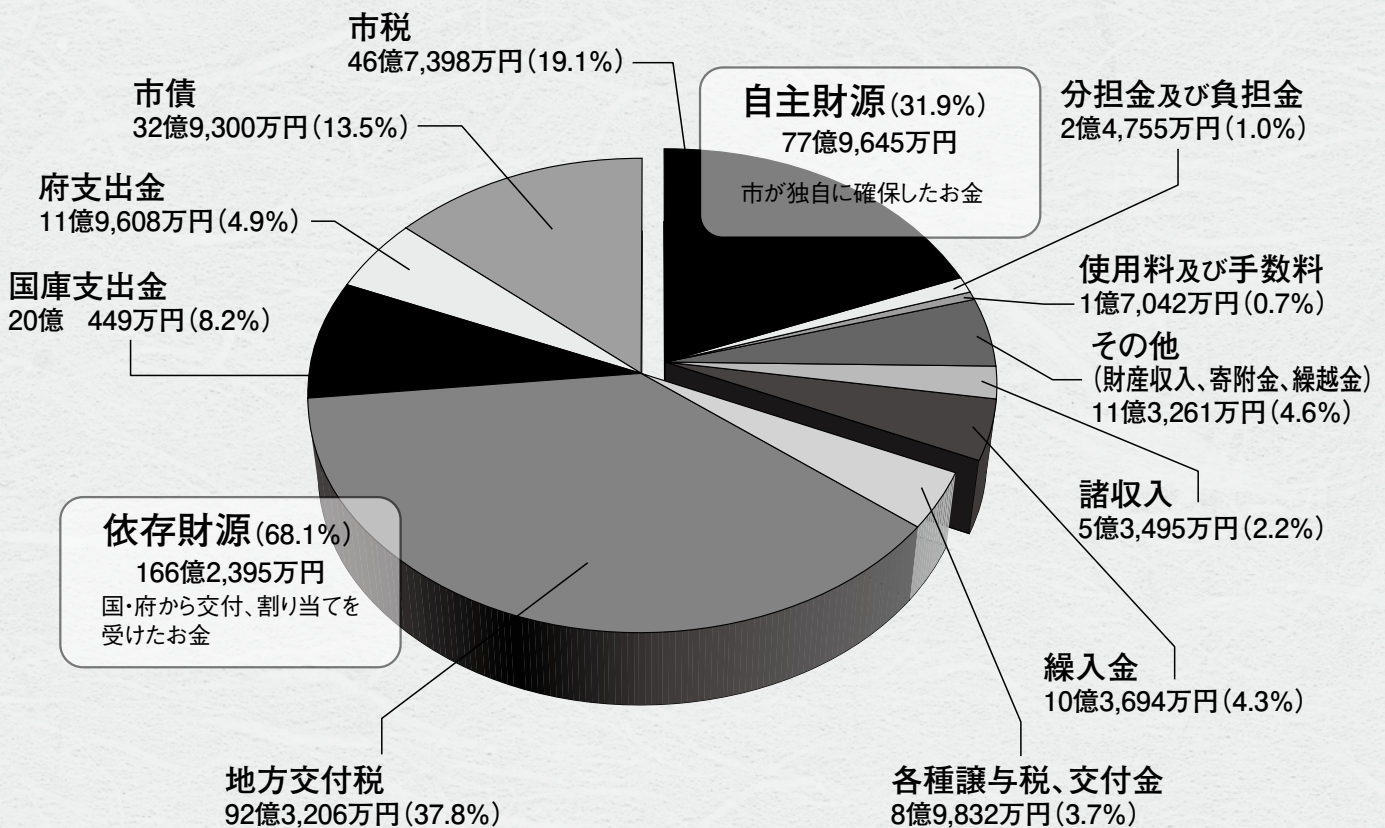
を公表します



市民の皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるか知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は、平成19年度の決算状況（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）と、平成20年度の半年間の予算執行状況（平成20年4月1日から9月30日まで）をお知らせします。

一般会計 歳入
244億2,040万円



■ 一般会計の決算 ■

平成19年度の一般会計決算は、歳入総額244億2,040万円、歳出総額238億2,723万円となりました。歳入歳出差引残高は5億9,317万円です。このうち翌年度へ繰り越す事業の財源1億8,394万円を差し引いた実質収支額は、4億923万円の黒字決算となりました。

ただし、事業実施にあたっては、市の貯金となる財政調整基金から6億6,240万円を繰り入れるなど厳しい決算状況となっています。

今後、事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

■ 企業会計の決算 ■

企業会計とは、市が直営する企業の会計を言います。経営できる企業は、公共の利益を目的とするもので、特別に定められたものだけです。

南丹市は上水道事業を企業会計としており、収益的収支では、6,213万円の純利益（黒字）を計上することができました。資本収支では、2億2,740万円の収入不足が生じましたが、積立金などで補てんしました。

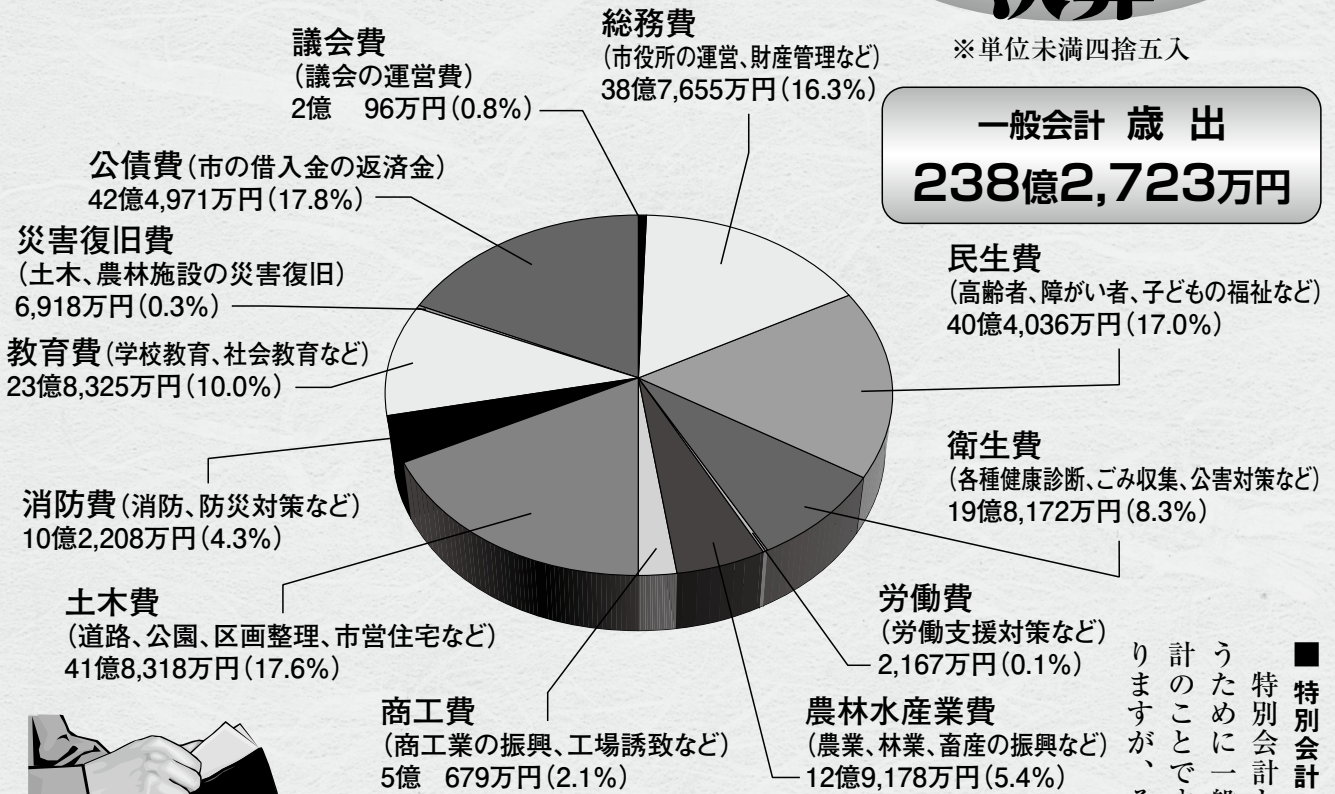


財政状況

平成19年度 決算

※単位未満四捨五入

一般会計 歳出
238億2,723万円



特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	35億9,238万円	35億6,579万円	2,659万円
老人保健事業	41億5,263万円	41億5,176万円	87万円
介護保険事業	28億7,745万円	27億3,879万円	1億3,866万円
市営バス運行事業	1億1,390万円	1億 463万円	927万円
簡易水道事業	11億6,050万円	11億4,751万円	1,299万円
下水道事業	35億5,155万円	34億8,972万円	6,183万円
商品券事業	2,135万円	887万円	1,248万円
土地取得事業	7億8,248万円	7億8,248万円	0万円

企業会計

会計名	歳入	歳出	差引	
上水道事業	収益的	4億5,167万円	3億8,954万円	6,213万円
	資本的	1億3,463万円	3億6,203万円	△2億2,740万円

■特別会計の決算■
特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国などの補助もありますが、その経費は受益者（サ

ービスを利用する方）が負担するのが原則です。南丹市は8つの特別会計がありそれぞれの平成19年度の決算状況は左のとおりです。

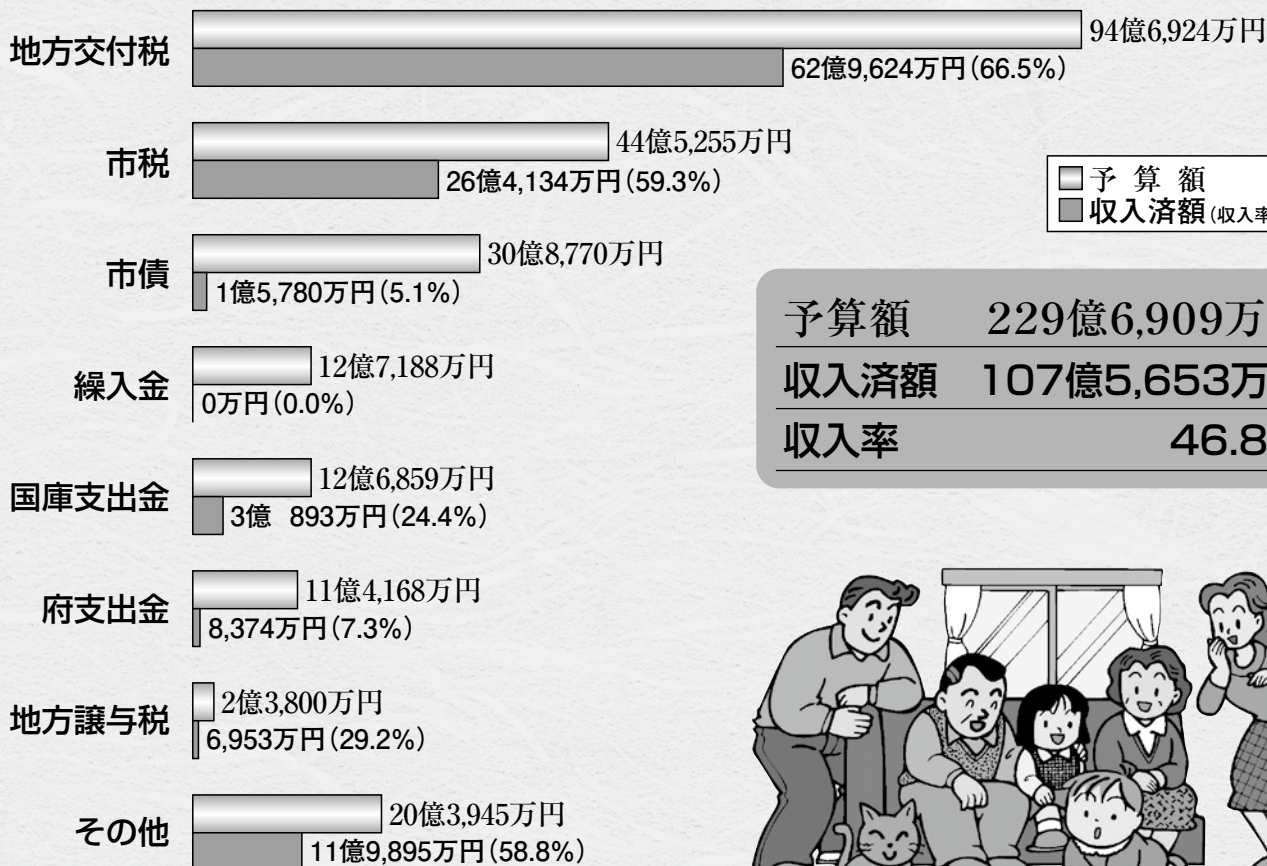
上半期歳入・歳出執行状況

平成20年度 予算

※繰越予算含む、単位未満四捨五入

歳入

一般会計 予算執行状況



市の借入金 (市債)

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

借入現在高 651億6,765万円

一般会計	326億8,243万円
特別会計	304億9,737万円
企業会計	19億8,785万円

市民1人当たりの借入金 184万円

うち交付税で補てんされる分(見込み)は345億円(53.0%)で実質市民1人当たりの借入金は87万円となります。

市民1人に使われる市のお金
● 65万円

市民1人が負担する税金(市税)
13万円

1世帯当たりに使われる市のお金
169万円

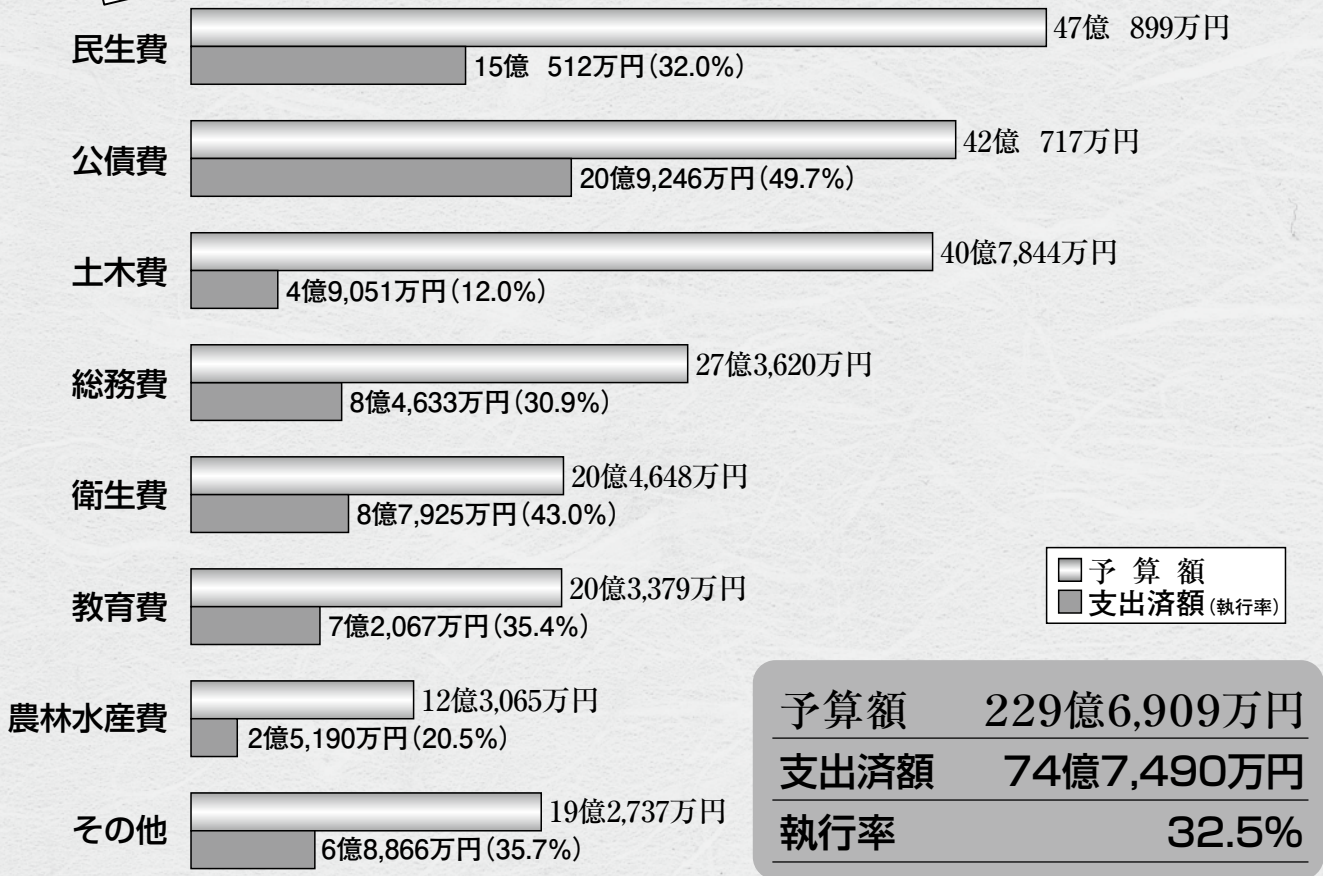
1世帯当たりが負担する税金(市税)
33万円

◆算出方法◆

市民(世帯)に使われるお金=総予算÷人口または世帯数
市民(世帯)が負担する税金=市税予算÷人口または世帯数
※平成20年9月30日現在の世帯数と人口を基にしています。
(人口35,325人 13,572世帯)

歳出

一般会計 予算執行状況



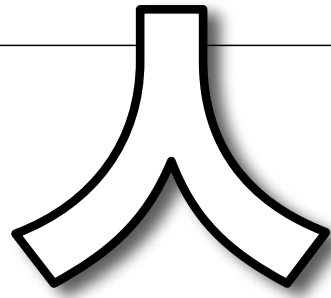
特別会計 予算執行状況

区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	38億3,344万円	13億2,992万円	34.7%	14億5,353万円	37.9%
老人保健事業	7億6,156万円	3億5,433万円	46.5%	4億1,614万円	54.6%
介護保険事業	31億 773万円	12億2,191万円	39.3%	11億1,199万円	35.8%
市営バス運行事業	5,253万円	2,032万円	38.7%	2,263万円	43.1%
簡易水道事業	7億7,213万円	2億2,068万円	28.6%	2億4,554万円	31.8%
下水道事業	34億2,570万円	4億8,797万円	14.2%	13億 39万円	38.0%
商品券事業	1,310万円	1,248万円	95.3%	180万円	13.7%
土地取得事業	1億1,149万円	34万円	0.3%	0万円	0.0%
後期高齢者医療事業	4億8,219万円	1億3,276万円	27.5%	1億3,587万円	28.2%

☎ 0771-680018
市役所財政課
【お問い合わせ先】

企業会計 予算執行状況

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	執行率
収益的	4億3,624万円	2億2,438万円	51.4%	4億1,413万円	7,249万円	17.5%
資本的	2億3,827万円	1,317万円	5.5%	5億9,177万円	8,969万円	15.2%



この道☆ひと筋



「商工会の振興発展と
地域活性化に寄与」

旭日小綬章

國府 初雄さん(八木町・74)

昭和57年5月から4年にわたって八木町商工会理事に就任。平成4年4月には、その行動力と統率力、豊富な経験により第16代目の八木町商工会長に推挙されて就任。以来、商工会の組織力強化、地元特産品の開発、地域の活性化に尽力されるとともに、4町商工

会合併に向けて協議の陣頭指揮にあたられ、平成20年4月に南丹市商工会が発足するまでの長きにわたって会長職を務められました。その間、八木の花火大会を京都府内最大級のイベントとして近畿一円に名を知らしめるまでの発展に寄与されました。
平成8年には京都府商工会連合会副会長に就任、平成11年5月に、卓越した知識と手腕、洞察力が高く評価され、第4代目の府商工会連合会長に推挙されて就任。また、近畿府県商工会連合会連絡協議会長、全国商工会連合会副会長に就任。現在に至るまで、商工会のさらなる振興発展に努められるとともに、平成15年からは財団法人京都府中小企業センター理事長も務めておられます。

昭和23年以来、41年10カ月の長きにわたって小学校教諭、養護学校教頭、小学校長を歴任。また、船井郡小学校教育研究会会長、船井郡小学校校長会長も務められ、平成2年3月に退職されるまで学校教育に熱意と行動力をもって従事されました。退職後は豊富な経験を生かし、平成3年4月から知的障害者更生施設あけぼの学園八木寮長として2年間、障がいのある人たちの自立と社会参加に力を注がれ、その後4年間は、八木中央幼児学園長として就任。平成8年から八木町社会福祉協議会長として地域の社会福祉の振興発展に努められました。学校教育活動の実践を通して、地域を愛し、人を敬い、多くの子どもたちを大きく育てられました。



「情熱を持って児童を教育、
社会福祉の振興に貢献」

瑞宝双光章

浅田 實さん(八木町・79)

瑞宝双光章

「防火思想の普及に尽力」

故・前田 一雄さん(園部町)

園部町消防団に44年3カ月にわたって在職され、団長として6年、副団長として14年4カ月、分団長として5年8カ月を務められました。団の実情に精通し、冷静な判断と的確な指揮で団員を統率。防火思想の普及に尽力し、毎月一日を「防火の日」と定めて定期パトロールやサイレン吹鳴を実施。消火器の各戸設置を説いて初期消火体制の充実に努めるとともに、火災の怖さを住民に訴え続けられました。ご冥福をお祈りします。

秋の叙勲 褒章受章者



「主導的立場で
地域の防災に尽力」

瑞宝双光章

奥村 睦夫さん(園部・70)

旧園部町消防団員および南丹市消防団員として、49年3カ月にわたって、消防人として火と戦ってこられました。市消防団で最古参経歴を有する中で、団長を8年、副団長を10年、分団長を9年務められ、長年の知識と経験により、団の指導者として主導的役割を果たし、後輩の育成指導に尽力されました。合併により南丹市消防団が発足した際も、初代団長に就任

し、旧町間の調整や広域化した地域の防災事業の把握に努め、その職務を全うされました。平成18年からは京都府消防協会の副会長に就任し、府消防操法大会で総指揮者を務められるなど、京都府下全域に及ぶ消防団のリーダーとして活躍されました。



「菓子職人の伝統を守り
和菓子作りに精励」

黄綬褒章

山名 長雄さん(園部・85)

昭和28年に、家業の「くりや」に勤務。以来、法人化や店舗拡大に努め、55年にわたって創業150年の老舗「くりや」を発展させてこられました。家伝の栗納豆「金の実」や「山里」などの伝統技法を伝承するとともに、地元丹波の特産品である丹波栗や大納言小豆などの自然の風味にこだわった「金の実羊羹」など数々の新商品を開発。「金の実」は、天皇陛下がお買い上げになられたこともあり、全国にその名をはせています。また、南丹市の名勝美山のかやぶきの家や園部のり浜にちなんだ和菓子も作ってこられました。4代目として代表取締役社長を務める現在も和菓子作りへの情熱は冷めやらず、源氏物語千年紀にちなんだ茶菓の製作に取り組まれています。

生涯スポーツ功労者表彰

麻田 健治さん(八木町)



昭和61年から八木町社会体育振興会の会長を務め、昭和63年の京都国体(バスケットボール成年女子競技大会)の運営において、中心的役割を果たされました。平成8年からは八木町体育協会会長として生涯スポーツの推進を図り、町内の競技団体の競技力向上に尽力されました。

平成15年には、京都府内で初めて体育協会のNPO法人格を取得(特定非営利活動法人八木町スポーツ協会)し、生涯スポーツのさらなる振興はもとより、八木町内体育施設の指定管理を受けて、効率的な施設の運営管理に携わっておられます。このたび、平成20年度生涯スポーツ功労者として文部科学大臣表彰を受けられました。

はじまっています市民協働

市民と共に担うまちづくり
手法検討委員会からの報告

「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」では、市民のまちづくり意識を分析した上で、市民・行政それぞれの役割を明確にし、その手法を研究しています。昨年9月5日に第1回委員会を開催して以来、これまで4回の話し合いを進めてきました。

その様子をさくらちゃんとブーナンおじいさん、ルリルリ※が話しています。どんな会議なのか聞いてみましょう。

※南丹市の花(さくら)・木(ぶな)・鳥(オオトリ)をイメージしたキャラクターです。



市民協働

②



さくらちゃん あら？この写真、みんな集まって何かの会議かしら？

ブーナンおじいさん

前に話した「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」じゃ



よ。南丹市の協働ルール作りについて話し合っているんじゃない。集まっている委員さんは、市ホームページ『市民協働』のコーナーでも紹介されているように、南丹市のいろんな分野で活躍されている市民の方や団体、専門的に研究を進める大学の教授、そして行政職員じゃよ。

ルリルリ ふむふむ。

どんなことを話し合っているルリ？



さくらちゃん きつと、私たちのまちでどんなふうに協働を進めたらいいか、どんなルールを決めたら地域がもっと元気になるかを話し合っているのね。

ブーナンおじいさん そのとおり。

先日も、ワークショップ形式で地域住民から見た南丹市の「ええところ」「あかところ」を話し合ったそうじゃ。行政職員で構成する市民協働推進プロジェクトメンバーも一緒に、いろんな意見を出し

合ったんじゃないよ。

さくらちゃん へえ。それで、どんな意見が出たのかしら？

ブーナンおじいさん 南丹市の「ええところ」は、自然が豊かで景観が

素晴らしいといった意見が多かったのお。ほかにも子どもやお年寄り元気で、地域のパワーがあるといった意見や、学生が多く交流やボランティア活動が活発、人が親切で、近隣のつながりがあるという意見も。それに、情報基盤が整っていることや、施設が充実して、花火大会や工芸文化祭などのイベントが良いという意見も多かったよ。

ルリルリ ボクなら「食べ物がおいしい」のが「ええところ」ルリ。

ブーナンおじいさん そうそう、食べ物

が安全でおいしいといった意見もあったよ。一方、「あかところ」は、山が荒廃してきていること、封鎖的、閉鎖的、無関心な人が多いという意見や、若者の意見が出しにくい、市域が広がって地域ごとに住民意識の格差や旧町意識が根深いといった意見も多かった。それから、医療格差、施設の利用ができていない、交通事情

が悪い、まとまりのない行事が多いという厳しい意見もあったよ。

さくらちゃん じゃ、その「ええところ」は市民協働でどんどん伸ばして、「あかところ」をどう改善していくかが課題なのね。

ブーナンおじいさん そうじゃな。「行政」と「市民」の協働のルール作りのためには、大学や学生さんといかに協力するか、地域の資源である「人」をどのように育てるか、キーマンとして活躍する人をいかに増やすかなどの意見が出たんじゃない。これについては今後

も研究を重ねることになっておるそうじゃ。

さくらちゃん こんなに地域に資源

がいっぱいあって、人が輝いている南丹市なんだから、みんなでいろんな意見を出し合えば、きつともっと魅力あなるまちになるわね。

協働のまち

「南丹市」だ！



平成21年度から 固定資産税・都市計画税の税率を統一します

土地、家屋、償却資産に課税される固定資産税および市街化区域内の土地、家屋に課税される都市計画

税は、平成18年度から平成20年度までの3年間は不均一課税を行ってまいりましたが、合併時の協議により平成21年度から左表のとおり統一します。

また、これまで旧4町の各町内に固定資産をお持ちの場合は、旧町ごとの税率で計算したそれぞれの納税通知書を送付していましたが、納税通知書についても統合します。

納税通知書を統合することで税額に影響はあるの？

これまでは、税額を旧町ごとに計算し納税通知書を送付する中で、免税点（※注）の判定も旧町ごとに行っていたため、複数の町に固定資産を所有されている方は、課税されない場合があります。

平成21年度からは、納税通知書を統一し、南丹市として市内に所有されている固定資産の課税標準額を合算して免税点の判定を行うため、免税点を満たした場合は、平成21年度から新たに課税することになります。

平成21年度からの税率改正(表)

資産の所在地	固定資産税	
	平成20年度まで	平成21年度から
園部町	1.4%	1.5%
八木町	1.5%	
日吉町	1.6%	
美山町	1.6%	

資産の所在地	都市計画税	
	平成20年度まで	平成21年度から
園部町	0.3%	0.2%
八木町	0.2%	

※注…免税点とは？

市内に同一人（納税義務者）が所有する土地、家屋、償却資産の課税標準額の合計額が、それぞれ次の金額に満たない場合、固定資産税・都市計画税は課税されません。

土地 30万円、家屋 20万円、償却資産 150万円

【お問い合わせ先】

市役所税務課

Tel 0771-68-0004

または各支所地域総務課

デジタル放送

見るなら!

CATV

情報整備

シリーズ

—9—



南丹市のケーブルテレビ（CATV）では、BS・CSデジタル放送サービスを開始しました。CATV以外に、自宅にパラボラアンテナを設置して視聴することもできます。BS・CS放送は地上波と違い、衛星からの電波を受信するので、地形の影響を受けません。

●CATVで見る場合

BS10チャンネル・CS35チャンネルが視聴できます。（NHKのみ別途受信料が必要）当初に登録およびセットトップボックス（STB）

（図1）設置費用と、月額利用料が必要ですが、STBはデジタルチューナーの機能もありますので、デジタル対応機器を自分で用意する必要はありません。



▲セットトップボックス(図1)

現在、登録・設置費用が無料となるキャンペーンを実施中（3月末まで）です。詳しくは、南丹市情報センターのチラシをご覧ください。お問い合わせください。

●パラボラアンテナで見る場合

BS10チャンネルが無料で視聴できます。（NHKやCSなどは別途契約・受信料が必要）ただし、デジタル対応のテレビか、チューナーの用意が必要です。対応機器をご購入の際は「デジタル対応ロゴマーク」（図2）を参考にしてください。



▲デジタル対応ロゴマーク(図2)

※現在、CATVではNHKのBSアナログ放送を基本サービスで提供していますが、アナログ放送終了後も引き続きBS放送を視聴いただくためには、このCATVの追加サービスにお申し込みいただくか、パラボラアンテナを設置する必要があります。

【お問い合わせ先】

・BSデジタル放送

お問い合わせセンター

Tel 0570-01-2011

・南丹市情報センター

Tel 0771-63-1777

（土日営業、月・祝休館）

行政 トピックス



園部に刻む教育の歴史祝う

―園二小10周年、園高120周年、
園幼100周年―



▲アンサンブルの透き通った音色に児童もうっとり(園二小)

園部第二小学校で創立10周年を記念して、10月19日に式典と保護者や地域の方々などによる音楽会が和やかに開催されました。
園部高等学校の創立120周年記念式典が、10月25日に園部公民



▲歴代同窓生ら出席の下、厳かに120年の歴史を祝う(園高)

館で厳かに開催されました。式典後は、同校卒業生の歌手、多岐川舞子さんが花を添えました。
園部幼稚園の創立100年・摩

気分園49年・西本梅分園25年の歩みを祝う式典が、11月30日に開催されました。この日のために保護者有志の作詞で作られた記念歌「たからもの」を全園児で発表。記念講演会では、同園卒でマリオの生みの親、宮本茂氏(任天堂)が、ゲームはたたくさんの人と一緒に楽しく遊べるものにしたと話されました。



▲記念歌を元気いっぱい歌う園児たち(園幼)

の生みの親、宮本茂氏(任天堂)が、ゲームはたたくさんの人と一緒に楽しく遊べるものにしたと話されました。

支え合い、農村の魅力発掘 美山福居と大学が手を結ぶ

―ふるさと共援活動組織
協定調印式―

協定調印式

過疎化・少子高齢化が進む地域の農地・山林の維持管理など、住民の力だけでなく大学や企業など共援者の力を得て農村集落の再生を図る「ふるさと共援活動」。

10月31日、美山町福居地区「百日紅の里 福居」における共援協定が、福居振興会と佛教大学で締結されました。今後は、共に手を取り、豊かな資源を生かした地域づくりや集落の活性化など、一体となった取り組みが進められます。



▲活性化に向け共援者と手をつないだ協定調印式



▲暴力追放のために結集した関係者ら

暴力行為は絶対に許さない 毅然たる態度でまちを守る

―南丹・船井暴力追放
推進協議会設立総会―

推進協議会設立総会

10月20日、市役所において南丹市と京丹波町、地域の防犯に取り組む関係団体などが出席の下、南丹警察署管内の暴力追放活動を推進するための協議会を設立しました。会長に佐々木南丹市長、副会長に松原京丹波町長を選出。住民が安心して暮らせる明るいまちづくりを実現するために、情報交換など相互に連携を図りながら、暴力団組織をはじめとするあらゆる暴力の存在を許さない姿勢を確認しました。

防火・防災の意識を高めて 大切な家族や財産を守ろう

― 防火グラウンドゴルフ交流大会 ―

秋季火災予防運動の一環として、健康増進を兼ねた防火グラウンドゴルフ交流会が、園部消防署主催で旧町ごとに開催されました。

11月5日、八木運動公園グラウンドで初期消火訓練や住宅用火災警報器の設置説明などを実施。

「寝室や階段などには『煙式』、煙や湯気が滞留する恐れのある台所には『熱式』の警報器が有効」との消防署員の説明に参加者は大きくうなずいていました。その後、防火標語の書かれたゴールを目指すグラウンドゴルフに汗を流しました。



▲訓練用の水消火器で初期消火を行う参加者



▲公開授業で考えを出し合う児童の様子を参観

なぜ？どうして？へえー！ 心のアンテナで不思議発見

― 京都府小学校教育研究会 理科教育研究大会 ―

南丹市立殿田小学校では、平成18年度から3年間にわたり理科研究協力校として、自然に親しみ、見通しをもって追究する児童の育成に取り組んできました。11月14日、授業の進め方や、児童が理科学習に取り組む様子を府内の教職員が参観し、その研究成果が発表されました。児童代表による「アンテナ君活動」発表会では、心のアンテナを張り巡らせて感じた不思議を自分たちで調べて、全児童や参観者に結果を発信しました。

中心市街地の活性化に向け 大型店の立地を抑制

― 第4回南丹市都市計画審議会 ―

11月28日、園部公民館で都市計画審議会が開催されました。審議会では、にぎわいのまちづくりを計画的に実現するため、床面積が1万平方メートルを超える特定大規模小売店舗の立地を抑制する南丹都市計画特別用途地区の決定（南丹市決定）について審議。また、市街化区域内において良好な都市環境を形成するために、保全する農地を「生産緑地地区」として指定することについて確認。審議会終了後、船越暉由会長から、市長に答申が提出されました。



▲岸上副市長に答申を託す船越会長（中央）と野中副会長（左）

不平等訴え、農業水利整備 長年の悲願ここに実を結ぶ

― 三俣川農業水利問題 諸対策事業完了記念式典 ―

八木町と亀岡市にまたがる三俣川地域の一部地区では、田畑を持たされず水利体系から除外され、農業用水確保に労苦を強いられてきました。昭和39年以来、この「水利権のない実態」こそが部落差別と捉えて、問題解決に向けた整備が進められてきました。

11月17日、府営ほ場整備事業三俣川地区しゅん工式および記念碑の除幕式が行われ、その後、この一連の諸対策事業の完了を確認し、後世へ引き継いでいくための記念式典が開催されました。



▲地域の発展を願う記念碑「三俣の郷」の除幕

もしも大規模災害が南丹市で起こったら…

— 南丹市総合防災訓練 —

東南海・南海地震など大規模災害の発生が心配されている今日、南丹市園部公園スポーツ広場のメイン会場と市内全域で、およそ5,000人が参加の下、市内各地で南丹市総合防災訓練を実施しました。

避難、救助、初期消火、炊き出しなど実践的な想定訓練を行うことで、市民の防火意識の向上と防災関係機関の連携強化、技術向上を図りました。

(想定) 平成20年11月16日

午前6時50分ごろ

南丹市で震度6強の地震発生

家屋の倒壊、火災の発生!

大きな被害が発生しています

直ちに避難所へ

避難してください



被害想定

地震規模マグニチュード6・5(西山断層系地震)で、南丹市中心部において震度6強、その他の地域において震度5を観測したと想定。甚大な被害が生じ、家屋の倒壊や火災、道路の寸断による交通の遮断などの被害が発生。

災害対策本部の設置

地震の発生により南丹市は災害対策本部を市役所内に設置。市全職員を動員し、情報収集、被害状況を確認。被害が甚大であることから京都府に対し、応援を要請。市民には、午前7時から市内全



▲現地災害対策本部を設置

域の自治会代表者らに電話やケーブルテレビなどを通じて避難指示を伝達。

各機関との連携・災害対策

災害対策本部は、園部公園スポーツ広場に現地対策本部を設置し、災害対策を開始。京都中部広域消防組合園部消防署をはじめとする防災関係機関・消防団などと連携を取り、消火、救出、救護活動を開始。



▲はしご車を活用した救助活動

住民の避難

避難所・応急救護所を開設。各地域で消防団などの誘導により、周辺住民が避難場所へと避難を開始。倒壊家屋などからの救出訓練、初期消火訓練、応急給水訓練、炊き出し訓練、一斉放水訓練などを実施。



▲炊き出しによるおにぎり作り



▲断水に伴う仮設給水設備の設置



▲無償提供される飲料



▲雨の中を避難所に集団避難する住民



▲事故車両に閉じ込められた人を救出



▲バケツリレーによる初期消火



▲負傷者の応急救護

— 防災力を高めて —

この訓練には、地域住民、南丹警察署や京都府南丹広域振興局をはじめ防災関係機関や大規模災害発生時における協力協定を結んでいる民間団体など20団体が参加し、迅速な訓練を展開しました。あいにくの雨模様でしたが、参加者は真剣な表情で訓練を行い、地域一丸となって防災力を高めました。訓練終了時に佐々木市長が「訓練を機に市民の防災意識を高めていただくとともに、市でも有事に備えて検証していく」とあいさつしました。

【参加機関一覧(順不同)】

南丹市、南丹市消防団、市内各自治会・自主防災組織、市内各婦人消防協力隊、京都府南丹広域振興局、京都府南丹保健所、京都府南丹警察署、京都中部広域消防組合、園部消防署・亀岡消防署、国民健康保険南丹病院組合、京都市消防局、(独)水資源機構日吉ダム管理所、京都地方気象台、南丹市社会福祉協議会、南丹市建設業協会、南丹市管工事業協会、(社)京都府エルピーガス協会南丹船井支部、南丹船井自衛消防隊連絡協議会、南丹船井危険物安全協会、近畿ココロラボトリング(株)、(株)光明製作所

ご協力ありがとうございました

いっき いっき 南丹

-29-

お元気ですか？
保健師です。



新型インフルエンザって？

〜ロゾ〜の予防や心掛けで、感染を防ぐ！

今、発生が懸念されている「新型インフルエンザ」。1918年に流行した「スペインかぜ」以上の被害が出る可能性があるともいわれています。

新型インフルエンザとは？

通常、インフルエンザは人と人、鳥と鳥といった同種間で感染します。しかし、ウイルスの性質が変わり、これまで人に感染しなかったインフルエンザウイルスが人に感染するようになったものを、「新型インフルエンザ」といいます。

これまでに流行した新型インフルエンザは？

- 1918年「スペインかぜ」
- 1957年「アジアかぜ」
- 1968年「香港かぜ」
- 1977年「ソ連かぜ」

いずれも世界的流行をしました。

なぜ、大流行する恐れがあるの？

新型インフルエンザは数十年周期で大流行が起きています。現在、アジアをはじめ世界各地で鳥インフルエンザが発生しており、感染した鳥と濃厚な接触をした場合に鳥から人に感染、約200人が死亡しています。原因となる鳥ウイルスは、すぐに人に感染することはありませんが、これが人ウイルスに変異すると、新しいウイルスに免疫のない私たちへの感染の大流行が起きると考えられています。

大流行を止めることはできるの？

世界的な大流行（パンデミック）を止めることは非常に困難だと考えられています。新型インフルエンザ用のワクチンは、新型インフルエンザが発生（変異した人ウイルスが人に感染）しないと製造できません。現在、鳥と人との間で

感染している鳥ウイルスから「プレパンデミックワクチン」が製造されていますが、どの程度の効果があるかは分かっていません。国内においては、インフルエンザに効く薬もあり、感染症予防対策を徹底すれば感染をある程度抑えることはできるでしょう。

流行した場合、どの程度の人が感染するの？

通常のインフルエンザの場合、800万人から1,200万人程度ですが、新型インフルエンザの場合、日本の人口の4分の1（約2,500万人）が感染するのではないかと予測されています。

感染ルート・症状は？

通常のインフルエンザと同様、咳、くしゃみ、つばなどに含まれるウイルスを吸い込むことにより感染すると考えられています。発熱、咳、結膜炎、呼吸器症状や肺炎、多臓器不全に至る重症なものまで推測されますが、現時点ではその程度が予測できません。

どんな予防や心掛けが必要？

①手洗い、うがいを小まめに行い、熱、咳、くしゃみなどの症状があるときは、咳エチケットを心掛けましょう。（マスクを着用す

るか、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう）

②栄養のある食事を心掛け、十分な睡眠をとり、体力と抵抗力をつけておきましょう。

③新型インフルエンザが流行し、外出を避ける事態になることも想定し、食料、日用品、医療品などを備蓄しておきましょう。

ご存じですか？

化学物質過敏症

化学物質過敏症とは、薬物や化学物質をほんのわずかな量でも摂取することによって、健康被害を引き起こすことをいいます。人体の許容量には個人差があり、香水や整髪料、たばこの煙など、微量でも、ぜんそく、気管支炎、アレルギー性鼻炎などの不定愁訴（原因がはっきりしない体の不調）、シックハウス症候群と呼ばれる症状などを引き起こすことがあります。

現時点では、まだ十分に発生メカニズムが解明されていませんが、実際に困っておられる方がいらっしやいます。

不特定多数の方と出会う機会があるときには、「過敏症の方がいらっしやるかも…」そんな心配りがあるといいですね。



小さな里から届く、ほっと安らく冬の便り
ほうきょう

～ゆずの里法京～



「ゆずみそのふろふき大根」

【材料】

みそ〔塩分10%のもの〕(800g)
砂糖(600g)、ゆず(大3個)、みりん(少々)

【作り方】

- ① みそに砂糖を加えて練り込んでおく。
- ② ゆずの皮の部分をおろし金ですりおろす。
- ③ ゆずの汁をしぼり、種・しぼり汁・果肉に分ける。
- ④ 果肉をミキサーにかけて細かくして、①に入れる。
- ⑤ ④を火にかけて、ぐつぐつ煮立ってきたらすりおろしたゆずの皮(②)としぼり汁(③)を入れて、仕上げにみりんを味を調える。
- ⑥ だし昆布で軟らかく煮たふろふき大根などにつけてお召し上がりください。

熱々のふろふき大根は寒い冬にぴったり。旬の食材で、新春にゆず(融通)きかせて、ふろふき(不老富貴)で過ごしませんか？

毎年、11月末から3月末にかけて、道の駅京都新光悦村(園部町曾我谷)の店舗に「手造りゆずジャム」が並びます。この味を楽しみに待つ人も多く、店舗に並ぶ前から問い合わせや予約の電話も入るほどです。

ゆずジャム・ゆずマーマレードを作るのは、園部町法京の農産加工グループ「ゆずの里法京」。山あいの小さな集落で、およそ30年前に不耕作の農地にゆずの木1,000本を植樹。そのうち150本が実をつけ、ゆずの商品化がスタート。5年ほど前に加工施設もでき、女性2人で丁寧に行われています。



▲一つ一つ丁寧に作業されます

の黒くなったところを包丁で取り除き、汁をしぼってミキサーにかけられます。添加物も凝固剤も使用せず、ゆず本来の風味を大切に、じっくり手をかけて作られます。

ゆずは、ジャムや料理などの香り付けに使われるほか、しぼり汁でポン酢を作ったり、種から化粧水を作ったりと、余すところなく使われます。丸ごと風呂に浮かべたゆず湯に入ると体の芯から温まり、冬至

(12月22日ごろ)に入ると「一年中風邪をひかない」ともいわれています。

「収穫量の少ない年もあるし、道路の拡張でゆず畑も減ったんですけど、ほかのこのゆずを使うとやっぱり味が違う。近所で分けてもらったりして法京のものだけで作っています。砂糖の量や煮詰める時間は、自分の感覚が頼り。収穫の時期や熟れ具合によって微妙に調整するんです」と、代表の大町季美さん。笑顔の絶えない朗らかなメンバー2人で「待ってくればいる人がいるのはありがたいこと」と、ゆずの甘酸っぱい優しい香りに包まれた加工場で作業に追われます。甘すぎず、ゆず本来の苦味もほんのり残る素朴なジャムは、紅茶などに入れてもおおいしくいただけます。



▶「きれいな色にできたわ」

ゆずの里法京 代表 大町 季美
TEL : (0771) 65-0523

各図書館の開館時間

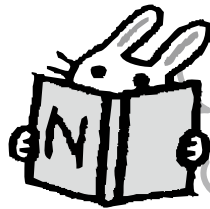
(休館日) 毎週月曜日・祝日

中央図書館：9時～17時

八木図書室：10時～18時・(日曜)10時～17時

日吉図書室：9時～18時・(土・日) 9時～17時

美山図書室：9時～17時・(金曜のみ)11時～18時



イメージキャラクター“なびっと”

図書館へようこそ!

No.14

雑誌には情報がいっぱい!

図書館には、書籍以外にも利用できる資料がたくさんあります。雑誌、ビデオ、DVD、CDなど、いろいろな形の資料を皆さんに提供しています。

今回は、この中から、雑誌の利用方法を紹介します。

雑誌の貸し出しができるよ!

雑誌は、書籍と同じように二週間の貸し出しができ、予約も可能です。ただし、最新号の貸し出しはできません(予約は可能)。次の号が出て、バックナンバー(既刊号)になると貸し出しができます。

新鮮で多角的な情報を提供し、過去の記事を見たいというリクエストにもお応えできるようにしています。

各図書館・室で取り扱っている雑誌の点数は、中央図書館56誌、八木図書室31誌、日吉図書室27誌、美山図書室24誌です。

なびっとの4こまマンガ

—共感—



作：石田 直香さん

※この作品は、平成19年8月に募集した「なびっと4こまマンガ」の中から掲載しています。

休館中の資料返却は、各館・室指定の返却ポストをご利用ください。(ただし、ビデオ、DVD、CDはポスト返却できません)

お子さんから大人の方まで利用していただけるよう、さまざまな種類の雑誌をそろえて、皆さんをお待ちしています。バックナンバーは雑誌によって保存期間が異なり、書庫に所蔵している場合もありますので、お探しの際はカウンターにお申し出ください。中央図書館に所蔵している雑誌を「新刊紹介」で紹介し

新刊紹介



『ダ・ヴィンチ』

発行：メディアファクトリー社
月刊、利用対象：一般

読みたい本がすぐ見つかる！をコンセプトに、毎月さまざまなテーマであらゆる書籍を紹介する「本好きの本好き」による本好きのための『本の雑誌』です。



『Newton(ニュートン)』

発行：ニュートンプレス社
月刊、利用対象：一般

科学に関するさまざまな情報をイラストや写真を使って、分かりやすく紹介。科学はとつても面白い！目指せ、将来のノーベル賞受賞!



『こどものとも0.1.2』

発行：福音館書店
月刊、利用対象：児童

雑誌とは思えないような高い品質の絵本で、素晴らしい詩や前衛的な作品が満載。「こどものとも」シリーズは対象年齢別に「年中向き」「年少版」などもあります。

マラウイ体験記

〈前編〉

2年間、私は青年海外協力隊の村落開発普及員としてアフリカ南東部マラウイ共和国に赴任していた。地図で見つけようとするとアフリカ諸国と比べてはるかに小さい面積に驚く。

そんなアフリカの片田舎町で、人は私たちと同じように食べ、働き、笑い、生活をしている。その人たちと一緒に働き、マラウイの食べ物を食べ、毎日おしやべりをした。彼らはアジアの小さな島国から来た私をよく驚かせてくれた。そんな生活のこまを紹介。

この国で生活を始めて一年以上経ったころ。いつも通り掛かるちっこい雑貨屋のうるさいおばちゃん。「うちの店のパン買って。私から買ってくれへんなんてひどいやっちゃ。あんたは私の友達やろ！」笑いながら冗談で言っているのだからうけど、おいしくなさそうなパン。いらんもんは買いたくない、と毎回断る。後日、おばちゃんちの畑に良いカボチ



渋谷 明香里 さん
美山町内久保在住。

2006年10月～2008年10月までの2年間、青年海外協力隊としてマラウイ共和国へ。現地の生活を通して体験したことをつぶっていたきました。

マラウイ共和国

首都:リロングウェ
面積:11.8万平方km(北海道と九州を合わせたほどの面積)
人口:約1,320万人(2006年、世界銀行統計)



ヤがごろごろなっているのを見つけた。このカボチヤになら喜んでお金出すぞ！とおばちゃんを呼び出す。ところが、「あかん。あれは売りもんちゃう」えー。ケチやなあ、と思っていると、それには驚くべき理由があった。「欲しいんやったら持つて行き。カボチヤなんかでお金取れるかいな、まったく何を言ひ出すやら」え！？おばちゃん、私からお金が欲しいのとちゃうん？「なんでお金いらんの？なんで？」と私が騒いでいるとおっちゃんが出てきた。「カボチヤは畑にごろごろあるから、欲しい人にあげらんや。お金を取るもとは違う。それがわしらの風習や」

自分が十分持っているならそれを持っていない人にもあげる。

いつも外国人である私が富を持っている者として見られ、物やお金などを要求されてイライラしていることと反対の現象だった。マラウイ人が**持っている者**になった時は、**持つていない私**に惜しみなく分けるという温かいシエアの文化がそこにはあった。

環・境・市・民

～環境にやさしい生活始めましょう～



地元産！

—第5回—

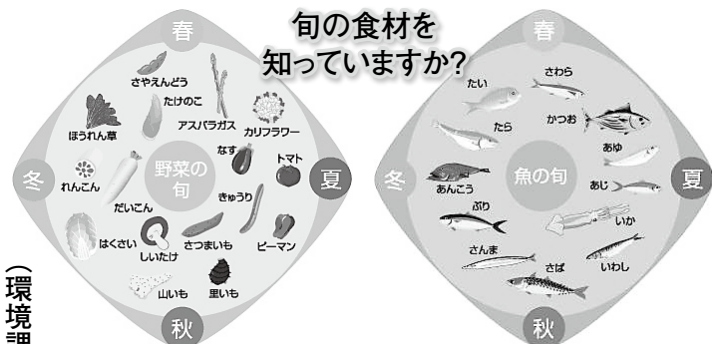
さあ始めよう！

家庭でできる温暖化対策

「地産地消」を合言葉に！

「地産地消」とは、「地域生産地域消費」の略で、地元でとれたものを地元で消費しよう、という意味です。近くでとれた食材は、それだけ運搬のエネルギーがかかりません。しかも、それが旬の食材なら暖房などを使って季節外に育てる手間もかからず、なお省エネになります。

輸入食材の方が、価格が安いなどの問題はありますが、価格だけにとらわれず、省エネのため、地産地消を考えましょう。



【表】財団法人省エネルギーセンターHPより

フードマイレージ

「フードマイレージ」とは、食糧の輸送に伴い排出されるCO₂が地球環境に与える負荷を数値で表したものです。食料の生産地から食卓までの距離が長いほど、輸送に係るエネルギー消費が多くなります。

フードマイレージ＝
食料の輸送量・重さ(t)×食料の輸送距離(km)

秋の恒例行事となった「ひよし水の社フェスタ」が、今年もスプリングスパークで開催されました。

会場には地元の農産加工グループなどによる模擬店や各団体の展示ブースも多数並び、交通安全大会、木材まつりも同時開催されました。

この日は朝からあいにくの雨模様でしたが、傘を手にした市内外からの来場者が、ジャグリングや吉本お笑いライブなどのステージイベントや、ミニS.L.など多彩なイベントを楽しみました。



▲傘の花が咲く中で行われたお笑いライブ

(10/26 ひよし水の社フェスタ2008)

「色とりどりの傘と笑顔の花咲く 多彩なイベント楽しむ日吉の秋」

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲4町文化団体連携の下で開催された総開会式

今年度から、町ごとに行っていた文化祭開会行事を市全体で一つにしようと11月1日に総開会式を園部公民館で開催。南丹市文化協会連絡協議会高木茂会長のあいさつの後、園部公民館3B体操サークル(園部町)、美山オカリナアンサンブルぐす(美山町)、柳姿会(日吉町)、八木町社交ダンス愛好会(八木町)が開幕に花を添えました。

園部町、八木町、日吉町では10月下旬から11月中旬にかけて展示・ステージ発表が行われ、それぞれ日ごとの成果を存分に披露しました。美山町では、3月1日に美山文化ホールで行われる予定です。

「心豊かに暮らしを彩る文化の祭典」

(11/1 南丹市文化祭総開会式)

「パス！シュート！ ゴールを決めろ！」

(11/29 レインボーカップ・バスケットボール大会)



◀白熱した一進一退の攻防戦が繰り広げられました

南丹市バスケットボール協会主催の第1回レインボーカップ・バスケットボール大会がスプリングスひよし体育館で開催されました。

昨年7月に協会が立ち上げられ、初めての大会には、観客を含めておよそ200人が集いました。年代別に競技が行われ、大人も子どもも真剣勝負。小学生の部では、コーチから厳しい指示が飛ぶ中、コート内を右へ左へと目まぐるしくボールを運ぶ選手たち。プロ顔負けの真剣な表情でゴールを狙っていました。



▲美山のオカリナ演奏など4団体がオープニングを飾りました



▲ふるさとの味覚に舌鼓をうちながら楽しむステージ

秋色深まる美山町で、ふるさと美山の活性化を図る「美山ふるさと祭」が開催されました。南丹市立宮島小学校グラウンドを会場に、美山の郷土食や特産品などのテントが並び、スキップ楽団のゆかいな音楽ステージには子どもたちも参加、お楽しみ福引き大会など大人も子どもも一緒に楽しみました。また、同日開催された「第9回美山かやぶきの里ワンデーマーチ」では、たくさんの方が秋の風景をめりながらそれぞれのペースでウォーキングを楽しみました。

「大人も子どもも秋色の美山を満喫」

11/3 美山ふるさと祭

バレーからビーチバレーに転向、北京・シドニー五輪出場の佐伯美香選手による「トーク&スポーツクリニック」（NPO法人八木町スポーツ協会主催）が丹波勤労者福祉会館で行われました。豊富な経験を生かし、市内の少年少女にバレーボールを実技指導。その後、講演会では母校京都成安高校（現：京都産業大学附属高校）の恩師南元昭治氏との思い出話や厳しい練習秘話、結婚・出産後の現役復帰など、負けず嫌いの気持ちが支えたアスリート人生が語られました。



▲恩師南元氏（左）と高校時代の思い出を語る佐伯選手

「『負けず嫌い』のアスリート人生」

10/26 八木町スポーツ協会講演会

「感動が生む、ものの新たな価値」

11/16 感動創造ものづくりシンポジウム



▲「感性価値」について討論するパネラー

これからの新しいものづくりについて考えるシンポジウムが京都伝統工芸大学校で開催されました。およそ120人が出席の下、トヨタ自動車の松本謙悟氏による基調講演や、京都国際工芸センターの黒竹理事長や近畿経済産業局高木参事官ら5人によるパネルトークが行われました。国際社会で生き残るためには価格や機能の価値以外に、感性に働きかけ、感動や共感を得ることによって現れる「感性価値」が必要になると、南丹市の新たなものづくり拠点「京都新光悦村」の発展を見据えた提言がされました。

「各店舗をアピール！職人技を披露、体験」

11/9 南丹市商工会青年部祭

自分たちの店や技をアピールし、商工会青年部のパワーを地域振興に役立てようとする青年部祭が園部町宮町シンボルロード一帯で開催されました。

昨年4月に旧4町商工会が合併し、市内の商工会青年部員が合同で企画。ブースごとに生菓子製造体験や髪を切るサービス、壁塗り体験など、培われた技術を生かした催しが会場いっぱいに行われました。

FMラジオでおなじみのDJを司会に迎え、ゲーム機など各店舗からの賞品が並ぶ抽選会も盛り上がりを見せていました。



▲壁塗り体験やタイルのコースター作りに挑戦！

ニュースダイジェスト

— 広報なんたん 2008 —

平成20年の南丹市1年間の主な出来事をカレンダーにして振り返りました。

さて、4年目を迎える南丹市はどんな1年を歩むのでしょうか。

- 24日 市民ミュージカル第1回公演
市民ミュージカルをつくる会「J丹musica(タンタムジカ)」が「青い鳥」を公演。

3月

- 3日 市議会議長・副議長が新たに選出
議長に吉田繁治氏、副議長に八木眞氏が選出。
- 27日 向山橋完成式典
老朽化に伴い、美山町向山地区に5年の歳月をかけて架け替えた橋が完成しました。

4月

- 1日 長寿(後期高齢者)医療制度が開始
特定健診・特定保健指導が開始
南丹市消防団入退団式
南丹市商工会開所式
4町商工会が合併し、新たな門出を祝福。
明治国際医療大学がスタート
明治鍼灸大学が名称を変更。
南丹市の花(さくら)・木(ぶな)・鳥(オオルリ)を制定
- 4日 (株)井筒八ッ橋本舗新光悦村工場起工式
京都新光悦村進出5社目。
- 5日 第15回大堰川さくら祭り
第23回京都・美山大野ダムさくら祭り
- 20日 第11回日吉ダムマラソン大会
1,779人のランナーが日吉ダム湖畔を快走。
- 26日 夢かなえ橋完成式典
八木町の西田大藪道路に架かる橋が完成。名称は竹井香菜さん(八木中3年)が名付けられました。

5月

- 3日 そのべ龍神まつり
- 22日 「森林の利用保全に関する協定」調印式
美山町中地区の森林を、三洋電機(株)、同労働組合、知井振興会などが協働して守り育てる「京都モデルフォレスト運動」の協定が締結されました。
- 25日 2008美山サイクルロード
- 29日 美山有機農業推進協議会設立総会
安全・安心な農産物の生産を展開するために設立。

1月

- 6日 南丹市消防団出初式
日ごろの献身的な消防団活動をたたえ、団員の表彰を行い、無火災を願って一斉放水を行いました。
- 13日 南丹市成人式
468人(園部278人、八木89人、日吉49人、美山52人)の新成人が、晴れやかに20歳の門出を迎えました。
- 19日 ふない聴覚言語障害センター創設10周年記念集会
- 25日 下吉田バイパス・トンネル完成式典
美山町和泉と宮脇を結ぶトンネルが開通し、地域の安全な生活道路がつながりました。
- 31日 (株)虎屋京都工場しゅん工式
誘致企業の大手和菓子メーカーの工場が完成。

2月

- 2日 男女共同参画フォーラム キラリなんたん
2日~10日 南丹市芸文化祭



市内で活躍される方々の作品を展示紹介。2日間で、3,000人を超える来場者が、南丹市の「ものづくり」文化にふれました。

- 5日 「森林の利用保全に関する協定」調印式
美山町宮脇地区の森林を、三共精機(株)や佛教大学、地元の団体などが協働して守り育てる「京都モデルフォレスト運動」の協定が締結されました。
- 6日 サイパン島青少年訪日団歓迎交流
- 17日 第25回きさらぎフェア
市内の婦人会各支部の作品展示発表、体験コーナーなどが設けられました。
- 20日 南丹市表彰式
市に功績や善行のあった1団体と3人の方々を表彰。また、2人の方に感謝状を贈呈しました。
- 24日 南丹市スポーツ・文化賞表彰式
市のスポーツおよび文化の振興・発展に貢献された14団体と99人の方々を表彰しました。

- 28日 第1回南丹市公有財産等の処分等に関する検討委員会
長期保有地の利活用や処分方法などを検討する委員会を発足。健全な市財政運営を目指します。


9月

- 4日 南丹市優良建設工事表彰
市が発注した建設工事で他の模範となる優れた工事を施工した市内2業者を表彰。
5日 第1回市民と共に担うまちづくり手法検討委員会
6日 第1回南丹市水泳大会
20日 南丹市人権講演会
辛坊治郎氏を講師に、人権を侵害しないために情報を正しく選ぶことを講演いただきました。

10月

- 1日 ふるさと南丹応援寄附金の受付開始
南丹市のまちづくりに対する寄附金を広く募るふるさと納税の受付を開始しました。
20日 南丹・船井暴力追放推進協議会設立総会
23日 南丹市戦没者追悼式
26日 ひよし水の杜フェスタ
31日 ふるさと共援事業組織協定調印式
美山町福居地区における共援協定が、福居振興会と佛教大学で締結されました。

11月

- 1日 南丹市文化祭総合開会式
3日 美山ふるさと祭・かやぶきの里ワンデーマーチ
15日 京都・美山大野ダムもみじ祭り
16日 南丹市総合防災訓練

防火意識の向上と防災関係機関の連携強化を図るため、大規模災害の発生を想定した総合防災訓練を実施しました。
17日 三俣川農業水利問題諸対策事業完了記念式典
28日 南丹市都市計画審議会答申

12月

- 5日 南丹市医療対策審議会答申
地域医療の充実に向けた対策についての答申が行われました。
8日 国の重要伝統的建造物群保存地区選定15周年記念式典
14日 知事と市長と和いれミーティング
24日 高松橋完成式典

6月

- 30日 農業集落排水事業宮島・大野地区しゅん工式

7月

- 1日 企画管理部に「総合政策課」を新設
行財政改革推進と重要な政策の企画立案部門として新たに設置しました。
5日 第27回南丹そのべ七夕まつり
6日 南丹市消防団操法大会



- 12日 南丹市地域情報通信ネットワーク施設完成・ケーブルテレビ全市デジタル化開局記念式典
4月から市全域でケーブルテレビ・インターネットサービスを開始、7月から自主放送のデジタル化を開始したことを記念して開催しました。
20日 スプリングスフェスタ2008
23日～8月26日 市政懇談会を開催
まちづくりの方針をお伝えし、市民参加のまちづくりを推進するために、市内18会場へ市長が伺いました。761人の方に参加いただきました。

8月

- 4日 「森林の利用保全に関する協定」調印式
八木町玉ノ井大鳥羽の森林を(株)島津製作所や八木町観光協会などが協働して守り育てる「京都モデルフォレスト運動」の協定が締結されました。
9日 天若湖アートプロジェクト2008・あかりがたなく記憶
10日 八木町夏まつり
14日 第62回南丹市やぎの花火大会
昭和22年から途絶えることなく打ち上げられてきた花火大会。約7,500発の花火が人々の思いをのせて大堰川にきらめきました。
15日 第25回清流美山の鮎まつり
2008南丹そのべ夏まつり



昼間には園部小学校鼓笛隊によるパレード、園部高校吹奏楽部・園部吹奏楽団による演奏、映画会が行われ、夜にはジャズコンサートが行われました。

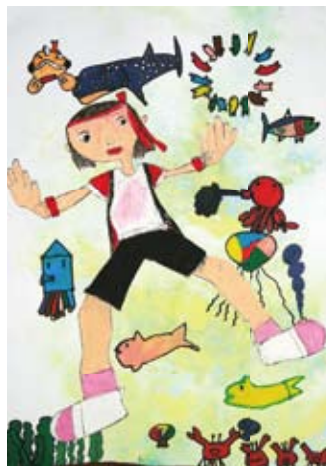
なんたんミュージアム -12-

南丹市立西本梅小学校

※担任の先生、担当教科の先生の
講評を掲載しています。

「海の生き物といっしょに、よさこい
ソーランロックをおどったよ」

長岡 茉優さん (1年)



「のびた手、踏んばっている足、海の生き物など一つ一つを丁寧に気持ちを入れて描くことができました。」

「木を切る人」

奥村 拓さん (5年)



「顔の表情や色のつけ方を丁寧に仕上げ、「よし、切るぞ!」という意気込みの感じられる絵が描けました。」

「ハテナマン」

奥村 直哉さん (4年)



「ヒョウタンを布やボタンで飾り、それぞれの素材を生かした面白い作品ができました。」

「思い出のある学校」

中井 優貴さん (6年)



「斜めの角度から見た校舎が上手に描けました。タイル一枚一枚が丁寧にぬられていて、校舎の雰囲気がよく伝わってきます。」

編集後記

丑(うし)年、ということ
で牛に会いに行ってみました
(表紙)。牛は食べ物を繰り返して
消化させるそうです。多忙な
毎日ですが、しっかりかんで
食事をすることも、物事を一
つ一つかみしめて消化させる
ことも大事なことです。のどかな
風景を前に、肩の力を抜いて
気持ち新たに歩み始めます。

(A)



森・里・街がきらめくふるさと **南丹市**
なんたんし



●総人口：35,265人(-10)
(男：16,999人・女：18,266人)
(-4) (-6)
●世帯数：13,567世帯(±0)
(平成20年12月1日現在)
()内は前月比



●八木町

※左から



今田

稀大くん (10歳)
菜々虹ちゃん (6カ月)
歩希ちゃん (6歳)
晴日ちゃん (9歳)

「兄妹仲良く、心優しい人になってください」(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります) 詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、再生紙に、ソイインキ(大豆油)で印刷しています。